

「やけどしてはいけません。」

参観のあとの6時間目の授業です。理科で割り箸を缶の中で蒸し焼きにしました。そのとき担任はこういったのです。

「空き缶の中で割り箸を燃やすので、やけど防止のための軍手をつけて、やけどに注意してください。と言っても必ず二人くらいはやけどするんだけどね。」

だいたいこういう実験をすると経験上何人かは缶をさわってしまって「やけど」をしちゃうのですね。

実験が始まるとやはり一人が「あっち」とやけどの報告です。ほら当たったでしょ、と思いながらみんなを集めて確かめのために実験をしているときに

「あっち！」

またやけど！話聞いてないなあ、と思ったらなんとそれは担任だったのです。トホホ...

ハンドパワーです。

担任がやけどしたあと、少し時間があつたので教室で「燃える」に関する“実験”を行いました。なんと担任の念力で燃えた紙が空中高く舞い上がるのです。まさにハンドパワー。そうそうこれはかなりのパワーがいるので何度でもできません。

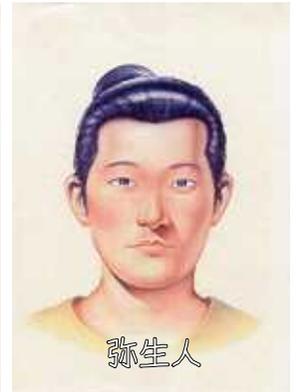
準備は簡単。紅茶のティバックとライターだけです。ティバックの中を捨

てて筒状にし、半分に切って2枚重ねにして机に置きます。静かに上から日をつけてパワーを送ると運が良ければ上っていきます。まあ初めは修行ですね。

縄文顔・弥生顔



縄文人



弥生人

参観の授業で南方系の縄文人と北方系の弥生人について話をしました。現在の日本人は平均して南方縄文系が20～30%、北方弥生系が70～80%の割合で混血しているようです。

もう少し自分の中の縄文、弥生を探してみましよう。

	南方縄文系顔	北方弥生系顔
顔	四角・長方形	丸・楕円
彫り	立体的	平坦
まゆ	太い・濃い	細い・薄い
ひげ	濃い・多い	薄い・少ない
まぶた	二重	一重
耳たぶ	大きい	小さい
耳あか	湿る	乾く
鼻骨	広い・高い	狭い・低い
唇	厚い	薄い

桃太郎

「ひとつ、人の世生
き血をすすり、
ふたつ、不埒な悪
行三昧、
みっつ、醜い浮き世の鬼を
退治してくれよう、桃太郎...」



の桃太郎侍ではありません。桃から生まれた桃太郎です。要約の授業をしました。

これを20字以内にまとめます。なかなかうまくまとめられません。そこでキーワードを探すことにしました。

「桃太郎で一番大切なキーワードは？」
これはみんな一致で「桃太郎」でした。

「2番目に大切な言葉は？」

これも「鬼退治」でした。

「3つ目のキーワードは？」

「犬・サル・キジ」でこれもみんな納得でした。

この3つのキーワード「桃太郎」「鬼退治」「犬・サル・キジ」を使い、一番大切なキーワードを最後にして文を作ることにしました。体言止めと言います。つまり一番大切な言葉は「桃太郎」でしたから「.....の桃太郎。」とか「.....した桃太郎。」と言う感じになるわけですね。

そこで子どもたちの要約の文を見ると、

「犬・サル・キジをつれて鬼退治をした桃太郎」

と言う感じにみんななりました。

そこでこれからの説明文とする要約の仕方です。「ツバメのすむ町」の單元ではこのキーワードで進めていきます。

要約のポイントはこちら！

3つのキーワード
一番大切な言葉で体言止め

ところでこの桃太郎って話、どうしてネコやウサギではなく、犬や猿、キジが出てくるのでしょうか。

家庭訪問ありがとうございました。

定期家庭訪問が終わりました。ご協力ありがとうございました。子どもたちの家での様子、心配なこと、健康上の注意点などのお話を聞かせていただきました。子どもたちの姿が少しみえてきたようです。ちょっと早めの訪問することが多く、ご迷惑をおかけしました。その家庭訪問で話題になったことをいくつか紹介します。

始業式の日が怖くて...

「こわい」というイメージが強いのでしょうか。始業式の日が落ち込んでましたという話も...。そんなに怖いかなあ。

先生も楽しんで授業しているみたい
金印の時には完全に私が楽しんでやっていたね。

T畑先生と同じ匂いが

同じ関西系、そして同じ野球系、そして同じ縄文系なのかも。